

令和6年度 事務事業実績測定調査

1. 事務事業の基礎情報										調査番号 652	
事務事業名称		し尿収集業務									
担当部署(R7年度機構)		部:	環境部	課:	希釈放流センター	区分	任意的事業				
基本項目	総合計画	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち				細区分	任意的区分			
		施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち				性質	環境・衛生			
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度			
	事業期間	事業開始： 不明 ~ 事業終了予定： 未定(継続実施含む)									
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、地方自治法、同法施行令、同法施行規則、枚方市一般廃棄物の減量及び適正処理の促進等に関する条例及び同施行規則									
	関係附属機関等	該当なし									
	関係補助金等	該当なし									補助金性質:
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム) ・目指すべき状態 ・課題が解決した状態	一般家庭で汲み取り便所を所有しており利用をしている者が、快適な生活環境で過ごす。									
	対象者(受益者)	一般家庭で汲み取り便所を所有しており利用をしている者/一般家庭で汲み取り便所を所有しており利用をしている者の近隣に在住する市民・事業者									
	現状・課題	一般家庭で汲み取り便所を所有しており利用をしている者が、快適な生活環境で過ごせるよう収集・運搬業務を迅速かつ的確に行う必要がある。									
	事業の概要	定期収集は、おおむね21日を周期として行い、臨時汲み取りは、電話受付後、随時収集を実施している。									
年間の主な事務	<ul style="list-style-type: none"> ・対象世帯のし尿収集及び運搬 ・し尿処理手数料賦課徴収事務 ・し尿収集処理受付事務 										

2. 事務事業への投入コスト(インプット)						
人員体制	(人)		R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員		6,90人	—	—	—
	再任用		1,21人	—	—	—
	任期付職員		0,00人	—	—	—
	会計年度任用職員		0,40人	—	—	—
	特別職非常勤		0,00人	—	—	—
	附属機関委員		0,00人	—	—	—

決算額	(千円)		R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)	
	歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	59,493	—	—	—		
			会計年度任用職員	1,023	—	—	—		
			特別職非常勤	0	—	—	—		
			附属機関委員	0	—	—	—		
			人件費計	60,516	—	—	—		
	物件費計	1,522	—	—	—	2,020	75.3%		
	歳出計		62,038	—	—	—			
	歳入	国庫支出金	0	—	—	—	0		
		府支出金	0	—	—	—	0	(留意事項)	
受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0	※正職員・再任用・任期付の 人件費は、人員配置をもとに 平均人件費を乗算しています。		
市債		0	—	—	—	0	※「歳入」欄には物件費に 充当されるもののみ記載 されています。		
その他		0	—	—	—	0			
歳入計(物件費に充当される特定財源)		0	—	—	—	0			
一般財源(物件費充当分のみ)		1,522	—	—	—	2,020			

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 対象世帯に対し、し尿収集を実施する。	件	7,629 件	一件	一件	一件

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)						直接アウトカム(結果による変化・便益)								
ロジックモデル	アウトプット①	説明	収集したし尿を適切に運搬する。				アウトカム①	説明	一般家庭で汲み取り便所を所有しており利用をしている者が、快適な生活環境で過ごす。					
		年間収集量						し尿収集の要望に対する執行率						
			R6	R7	R8	R9		単位	R6	R7	R8	R9	単位	
		目標	1,085.0	990.8	912.3	858.6		kl	目標	100	100	100	100	%
		実績	1,138.9	—	—	—		kl	実績	100	—	—	—	%
算出方法	年間収集量					算出方法	収集量/収集要望量×100							

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

汲み取り世帯が減少する中でも、収集の効率化を進める。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	収集業務は、21日周期を原則に普通・大口・臨時の区分により、定期収集車2台で汲み取りを行った。公共下水道地区整備に伴い、汲み取り件数は年々減少しているため、収集車の受け持ち地区変更や収集区分の整理を随時行い、収集の効率化を進めた。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	汲み取り世帯が減少する中でも、収集の効率化を進めていくが、し尿収集業務について環境部における収集業務部門の統合を検討していく。	R7年度方向性	見直し
----------	---	---------	-----

参考	方向性の経過	R6年度の方向性 (R5実績測定)	R7年度の方向性 (R6実績測定)	R8年度の方向性 (R7実績測定)	R9年度の方向性 (R8実績測定)	R10年度の方向性 (R9実績測定)
		現状維持	見直し	—	—	—

令和6年度 事務事業実績測定調査

1. 事務事業の基礎情報										調書番号 653	
事務事業名称		し尿処理業務									
担当部署 (R7年度機構)		部:	環境部	課:	希釈放流センター	区分	任意的事業				
基本項目	総合計画	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち				細区分	任意的区分			
		施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち				性質	環境・衛生			
	市長公約との関係性	所信表明 (R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度			
	事業期間	事業開始: 不明 ~ 事業終了予定: 未定(継続実施含む)									
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、下水道法									
	関係附属機関等	該当なし									
	関係補助金等	該当なし 補助金性質: —									
詳細項目	事業の目的 (最終アウトカム) ・目指すべき状態 ・課題が解決した状態	「枚方市」及び「枚方市一般廃棄物収集運搬及び浄化槽清掃許可業者」が、市域から発生するし尿・浄化槽汚泥等を滞りなく搬入でき、そして、し尿・浄化槽汚泥等について、法令に適合した処理を適切に行い、生活排水の改善が図られている状態。									
	対象者(受益者)	「枚方市」及び「枚方市一般廃棄物収集運搬及び浄化槽清掃許可業者」/汲み取り便所、浄化槽及びビディスポーザを設置しており利用している者									
	現状・課題	し尿・浄化槽汚泥等を滞りなく搬入できるようにする必要がある。/し尿・浄化槽汚泥等について、法令に適合した処理を適切に行い、生活排水の改善が図られるようにする必要がある。									
	事業の概要	<p>市域から収集したし尿及び浄化槽汚泥等を、本施設で適正に処理し、放流基準を遵守できるよう、適切な維持・管理を行っている。</p> <p>希釈放流方式</p> <p>大阪府の許可条件 計画処理量 約60kl/日 放流量 1,140m³/日(令和3年度まで) 計画処理量 約45kl/日 放流量 855m³/日(令和4年度から令和8年度まで)</p>									
年間の主な事務	<ul style="list-style-type: none"> ・受入業務及び受入設備維持管理業務 ・前処理設備維持管理業務 ・希釈放流設備維持管理業務 ・脱臭設備維持管理業務 ・給排水設備管理業務 ・その他し尿処理に関連する事務 										

2. 事務事業への投入コスト(インプット)											
人員体制	(人)		R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績					
	正職員		4.12人	—	—	—					
	再任用		0.00人	—	—	—					
	任期付職員		1.01人	—	—	—					
	会計年度任用職員		0.09人	—	—	—					
	特別職非常勤		0.00人	—	—	—					
	附属機関委員		0.00人	—	—	—					
決算額	(千円)		R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)			
	歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	36,732	—	—	—				
			会計年度任用職員	231	—	—	—				
			特別職非常勤	0	—	—	—				
			附属機関委員	0	—	—	—				
			人件費計	36,963	—	—	—				
	物件費計		196,956	—	—	—	198,509	99.2%			
	歳出計		233,919	—	—	—					
	歳入	国庫支出金		0	—	—	—	0	(留意事項) ※正職員・再任用・任期付の 人件費は、人員配置をもとに 平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に 充当されるもののみ記載 されています。		
		府支出金		0	—	—	—	0			
受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0					
市債		45,700	—	—	—	38,077					
その他		0	—	—	—	0					
歳入計(物件費に充当される特定財源)		45,700	—	—	—	38,077					
一般財源(物件費充当のみ)		151,256	—	—	—	160,432					

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 搬入されたし尿・浄化槽汚泥等に対し、希釈放流方式にて処理する。(年間搬入量)	kl	10,308.6 kl	— kl	— kl	— kl

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)						直接アウトカム(結果による変化・便益)								
ロジックモデル	アウトプット①	説明	希釈放流方式により、搬入されたし尿・浄化槽汚泥等を適切に処理する。				アウトカム①	説明	し尿・浄化槽汚泥等について、法令に適合した処理を適切に行い、生活排水の改善が図られている。					
		年間放流量							し尿及び浄化槽汚泥等に対する処理完了率					
		指標	R6	R7	R8	R9			単位	R6	R7	R8	R9	単位
		目標	238,466	228,855	221,989	215,330			m ³	100	100	100	100	%
		実績	229,581	—	—	—			m ³	100	—	—	—	%
算出方法	放流量					算出方法	処理量/搬入量×100							

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

し尿の処理量が減少していく中で、処理の効率化を進めるため、運転管理の民間委託の検討をしていく。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	市域から収集したし尿及び浄化槽汚泥等を、本施設で適正に処理し、放流基準を遵守しながら、適切な維持・管理が行えた。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	し尿の処理量が減少していく中で、処理の効率化を進めるため、し尿処理業務の運転管理については、民間委託を検討していく。	R7年度方向性	見直し
----------	--	---------	-----

参考	方向性の経過	R6年度の方向性 (R5実績測定)	R7年度の方向性 (R6実績測定)	R8年度の方向性 (R7実績測定)	R9年度の方向性 (R8実績測定)	R10年度の方向性 (R9実績測定)
		現状維持	見直し	—	—	—

令和6年度 事務事業実績測定調査

1. 事務事業の基礎情報										調書番号 654	
事務事業名称		希釈放流センター施設維持管理事業									
担当部署 (R7年度機構)		部:	環境部	課:	希釈放流センター	区分	持続的事業				
基本項目	総合計画	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち				細区分	維持管理区分			
		施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち				性質	環境・衛生			
	市長公約との関係性	所信表明 (R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度			
	事業期間	事業開始: 不明 ~ 事業終了予定: 未定(継続実施含む)									
	根拠法令等	建築物衛生法、労働安全衛生法、水道法									
	関係附属機関等	該当なし									
	関係補助金等	該当なし 補助金性質: —									
詳細項目	事業の目的 (最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	「枚方市」及び「枚方市一般廃棄物収集運搬及び浄化槽清掃許可業者」が、市域から発生するし尿・浄化槽汚泥等を滞りなく搬入でき、し尿・浄化槽汚泥等を法令に適合した処理を適切に行えて、施設の維持管理ができている状態。									
	対象者(受益者)	「枚方市」及び「枚方市一般廃棄物収集運搬及び浄化槽清掃許可業者」/汲み取り便所、浄化槽及びビスポーザを設置しており利用している者									
	現状・課題	「枚方市」及び「枚方市一般廃棄物収集運搬及び浄化槽清掃許可業者」が、市域から発生するし尿・浄化槽汚泥等を滞りなく搬入でき、し尿・浄化槽汚泥等を法令に適合した処理を適切に行い、施設の維持管理を実施する必要がある。									
	事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○施設の概要 希釈放流センター (所在地:出口2丁目30番1号・開設年月日:平成5年9月30日・敷地面積:33,175.77㎡ 延床面積:5,498.94㎡・建物構造:鉄筋コンクリート造2階建外) ○委託業務(清掃委託・貯水槽清掃委託・警備委託・害虫駆除委託・空気環境測定委託・除草樹木剪定等委託) ○事業内容 警備委託(機械警備)による休日・夜間の管理。 清掃委託等による建物の維持管理及び除草樹木剪定等委託による施設内の美観の維持。 									
年間の主な事務	<ul style="list-style-type: none"> ・委託の契約事務 ・委託業者の監督、委託料支払 										

2. 事務事業への投入コスト(インプット)											
人員体制	(人)		R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績					
	正職員		0.90人	—	—	—					
	再任用		0.37人	—	—	—					
	任期付職員		0.00人	—	—	—					
	会計年度任用職員		0.00人	—	—	—					
	特別職非常勤		0.00人	—	—	—					
	附属機関委員		0.00人	—	—	—					
決算額	(千円)		R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)			
	歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	8,890	—	—	—				
			会計年度任用職員	0	—	—	—				
			特別職非常勤	0	—	—	—				
			附属機関委員	0	—	—	—				
	人件費計		8,890	—	—	—					
	物件費計		6,156	—	—	—	10,272	59.9%			
	歳出計		15,046	—	—	—					
	歳入	国庫支出金		0	—	—	—	0	<small>(留意事項) ※正職員・再任用・任期付の 人件費は、人員配置をもとに 平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に 充当されるもののみ記載 されています。</small>		
		府支出金		0	—	—	—	0			
受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0					
市債		0	—	—	—	0					
その他		0	—	—	—	0					
歳入計(物件費に充当される特定財源)		0	—	—	—	0					
一般財源(物件費充当分のみ)		6,156	—	—	—	10,272					



3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 希釈放流センターの施設保全や保守点検等を行う。	件	6件	一件	一件	一件

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)						直接アウトカム(結果による変化・便益)								
ロジックモデル	アウトプット①	説明	希釈放流センターが適正に維持管理されている。				アウトカム①	説明	—					
		指標	施設維持に係る当初予算額に対する決算額の割合					指標	—					
			R6	R7	R8	R9		単位	R6	R7	R8	R9	単位	
		目標	100	100	100	100		%以内	目標	—	—	—	—	—
		実績	60	—	—	—		%以内	実績	—	—	—	—	—
算出方法	決算額/当初予算額×100					算出方法	—							

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

し尿処理業務を滞りなく、適切に行っていくために、施設の維持管理を効率的に進めていく。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	し尿処理業務を滞りなく、適切に行っていくために、施設の維持管理を効率的に進め実施した。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	市域から発生するし尿・浄化槽汚泥を滞りなく搬入できるよう施設の維持管理を適切に行っていく。	R7年度方向性	現状維持
----------	---	---------	------

参考	方向性の経過	R6年度の方向性 (R5実績測定)	R7年度の方向性 (R6実績測定)	R8年度の方向性 (R7実績測定)	R9年度の方向性 (R8実績測定)	R10年度の方向性 (R9実績測定)
		現状維持	現状維持	—	—	—

令和6年度 事務事業実績測定調査

1. 事務事業の基礎情報										調査番号 663	
事務事業名称		希釈放流センター老朽化対策事業									
担当部署(R7年度機構)		部:	環境部		課:	希釈放流センター		区分	義務的事業		
基本項目	総合計画	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち					細区分	非選択的区分		
		施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち					性質	環境・衛生		
	市長公約との関係性	所信表明 (R5年9月)	—		市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度		
	事業期間	事業開始： R3年度(2021年度) ～ 事業終了予定： 2025(R7)年度									
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、下水道法									
	関係附属機関等	該当なし									
	関係補助金等	該当なし 補助金性質： —									
詳細項目	事業の目的 (最終アウトカム) ・目指すべき状態 ・課題が解決した状態		複数年に渡る老朽化対策工事を実施することにより、今後も安定した処理を行うことができる。								
	対象者(受益者)		「枚方市」及び「枚方市一般廃棄物収集運搬及び浄化槽清掃許可業者」/汲み取り便所、浄化槽及びディスポーザを設置しており利用している者								
	現状・課題		老朽化対策工事を実施している間についても、市域から発生するし尿・浄化槽汚泥等を滞りなく搬入でき、し尿・浄化槽汚泥等を法令に適合した処理を適切に行う必要がある。/								
	事業の概要		<p>現希釈放流センターについては、平成28年度から平成29年度にかけて、市立淀川衛生工場改造工事を実施し、工事完了後となる平成29年12月18日から希釈放流を開始した。改造工事の内容については、主に下水道へ放流する設備の設置や槽内の防食・防水補修及び電気設備の改造であり、平成5年に市立淀川衛生工場が稼働を開始した時から使用している脱臭設備や前処理設備は既存のままである。</p> <p>今回の希釈放流センター老朽化対策工事では、主に既存のまま使用している設備の更新を目的とした内容であり、予算の平準化に努め、令和3年度から令和7年度までの5ヶ年で実施するものである。</p> <p>【令和3年度から令和7年度までの総事業費】 231,027千円(消費税込み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度 3,100千円(消費税込み) ・令和4年度 84,913千円(消費税込み) ・令和5年度 45,072千円(消費税込み) ・令和6年度・令和7年度 97,942千円(消費税込み) 								
年間の主な事務		令和6年度 老朽化対策工事(前処理設備)									

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

		(人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
人員体制	正職員		0.53人	—	—	—
	再任用		0.00人	—	—	—
	任期付職員		0.00人	—	—	—
	会計年度任用職員		0.00人	—	—	—
	特別職非常勤		0.00人	—	—	—
	附属機関委員		0.00人	—	—	—

		(千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
決算額	歳出	内訳						
		正職員、再任用、任期付職員	4,075	—	—	—		
		会計年度任用職員	0	—	—	—		
		特別職非常勤	0	—	—	—		
		附属機関委員	0	—	—	—		
	人件費計	4,075	—	—	—			
	物件費計	67,100	—	—	—	75,000	89.5%	
	歳出計	71,175	—	—	—			
	歳入	国庫支出金	0	—	—	—	0	
		府支出金	0	—	—	—	0	(留意事項)
受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0	※正職員・再任用・任期付の 人件費は、人員配置を もとに平均人件費を乗算 しています。	
市債		50,300	—	—	—	54,723	※「歳入」欄には物件費に 充当されるもののみ記載 されています。	
その他		0	—	—	—	0		
歳入計(物件費に充当される特定財源)		50,300	—	—	—	54,723		
一般財源(物件費充当のみ)	16,800	—	—	—	20,277			

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 老朽化対策工事に係る実施設計委託・工事を実施する (執行済額/契約金額×100)	%	100 %	— %	— %	— %

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)

ロジックモデル	説明	老朽化対策工事に係る実施設計委託・工事の進捗度					
		総事業費に対する進捗率					
	指標		R6	R7	R8	R9	単位
		目標	100	100	—	—	%
	実績	94	—	—	—	%	
	算出方法	執行済額/総事業費×100					

直接アウトカム(結果による変化・便益)

ロジックモデル	説明	—					
		—					
	指標		R6	R7	R8	R9	単位
		目標	—	—	—	—	—
	実績	—	—	—	—	—	
	算出方法	—					

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	し尿の共同処理に向けた広域連携の可能性について協議を行う中で、予算の平準化に鑑み、令和6年度に更新を予定していた機器2台の内、1台のみの更新とした。残りの1台を令和7年度に実施するため、本事業は令和6年度に終了予定であったが、令和7年度まで延長した。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	希釈放流センターの主に既存のまま使用している設備について、予算の平準化に努め、令和3年度から令和7年度までの5ヶ年で更新を行い、本事業は令和7年度をもって終了とする。	R7年度方向性	終了
----------	---	---------	----

参考 方向性の経過	R6年度の方向性 (R5実績測定)	R7年度の方向性 (R6実績測定)	R8年度の方向性 (R7実績測定)	R9年度の方向性 (R8実績測定)	R10年度の方向性 (R9実績測定)
	現状維持	終了	—	—	—

令和6年度 事務事業実績測定調査

1. 事務事業の基礎情報										調査番号 675	
事務事業名称		公衆便所管理事務									
担当部署(R7年度機構)		部:	環境部	課:	希釈放流センター	区分	行政運営事業				
基本項目	総合計画	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち				細区分	行政運営区分			
		施策目標	28.美しく魅力あるまち並みが育まれるまち				性質	環境・衛生			
	市長公約との関係性	所信表明 (R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度			
	事業期間	事業開始： 2010(H22)年度 ～ 事業終了予定： 未定(継続実施含む)									
	根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、枚方市公衆便所条例									
	関係附属機関等	該当なし									
	関係補助金等	該当なし									補助金性質： —
詳細項目	事業の目的 (最終アウトカム) ・目指すべき状態 ・課題が解決した状態		公衆便所を利用する者が、快適に利用できている状態。								
	対象者(受益者)		公衆便所を利用する者								
	現状・課題		公衆便所を利用する者が、快適に利用できるよう必要な維持管理を実施する必要がある。								
	事業の概要		<p>公衆便所の維持・管理のため、毎日の施設・設備の清掃、ゴミやクモの巣などの除去、消耗品の補充、軽微な故障修理等については、清掃業務委託により実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西口公衆便所(枚方市桜町2番23号) 開設 昭和28年3月、敷地面積 23.14㎡、延床面積 16.00㎡、建物構造 鉄筋コンクリート造 (男子 洋式 1、小便器 1) (女子 洋式 1) ・枚方公園駅前公衆便所(枚方市伊加賀北町5番11号) 開設 昭和34年7月、敷地面積 51.06㎡、延床面積 20.80㎡、建物構造 鉄筋コンクリート造 (男子 和式 1、小便器 2) (女子 和式 2) (身障者用 洋式 1) 								
年間の主な事務		<ul style="list-style-type: none"> ・委託業者の監督、委託料支払 ・故障設備の交換作業 ・苦情、要望への対応 									

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

		(人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
人員体制	正職員		0.10人	—	—	—
	再任用		0.01人	—	—	—
	任期付職員		0.00人	—	—	—
	会計年度任用職員		0.00人	—	—	—
	特別職非常勤		0.00人	—	—	—
	附属機関委員		0.00人	—	—	—

		(千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
決算額	歳出	内訳						
		正職員、再任用、任期付職員	822	—	—	—		
		会計年度任用職員	0	—	—	—		
		特別職非常勤	0	—	—	—		
		附属機関委員	0	—	—	—		
	人件費計	822	—	—	—			
	物件費計	2,106	—	—	—	2,631	80.0%	
	歳出計	2,928	—	—	—			
	歳入	国庫支出金	0	—	—	—	0	
		府支出金	0	—	—	—	0	(留意事項)
受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0	※正職員・再任用・任期付の 人件費は、人員配置を もとに平均人件費を乗算 しています。	
市債		0	—	—	—	0	※「歳入」欄には物件費に 充当されるもののみ記載 されています。	
その他		0	—	—	—	0		
歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	—	—	—	0			
一般財源(物件費充当のみ)	2,106	—	—	—	2,631			

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標		単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
①	公衆便所の施設・設備の清掃等、各種施設保全、保守点検等を行う。	回	365回	一回	一回	一回

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)

ロジックモデル	説明	公衆便所が適切に維持管理されている。					
		修繕料、補修工事等に係る当初予算額に対する決算額の割合。					
	指標	R6	R7	R8	R9	単位	
	目標	100	100	100	100	%以内	
	実績	80	—	—	—	%以内	
算出方法	決算額/当初予算額×100						

直接アウトカム(結果による変化・便益)

ロジックモデル	説明	—					
		—					
	指標	R6	R7	R8	R9	単位	
	目標	—	—	—	—	—	
	実績	—	—	—	—	—	
算出方法	—						

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

--

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	公衆便所の適切な維持管理を実施しながら、あり方についての検討も行った。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度 取組方針	公衆便所のあり方について検討していく。	R7年度 方向性	見直し
--------------	---------------------	-------------	-----

参考 方向性の経過	R6年度の方向性 (R5実績測定)	R7年度の方向性 (R6実績測定)	R8年度の方向性 (R7実績測定)	R9年度の方向性 (R8実績測定)	R10年度の方向性 (R9実績測定)
	見直し	見直し	—	—	—

令和6年度 事務事業実績測定調査

1. 事務事業の基礎情報										調査番号 879	
事務事業名称		希釈放流センター運営事務									
担当部署(R7年度機構)		部:	環境部	課:	希釈放流センター	区分	行政運営事業				
基本項目	総合計画	基本目標	9. 施策体系外				細区分	行政運営区分			
		施策目標	99. 施策体系外				性質	内部事務・行政運営			
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度			
	事業期間	事業開始: R4年度(2022年度) ~ 事業終了予定: 未定(継続実施含む)									
	根拠法令等	決裁									
	関係附属機関等	該当なし									
	関係補助金等	該当なし 補助金性質: —									
詳細項目	事業の目的 (最終アウトカム) ・目指すべき状態 ・課題が解決した状態	課の運営が円滑に行われている。									
	対象者(受益者)	希釈放流センター職員									
	現状・課題	課の運営を円滑に図る必要がある。									
	事業の概要	課の運営事務									
年間の主な事務	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内照会回答事務 ・市議会関係事務 ・車両管理事務 ・その他庶務関係事務 										

2. 事務事業への投入コスト(インプット)						
人員体制	(人)		R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員		0.70人	—	—	—
	再任用		0.20人	—	—	—
	任期付職員		0.00人	—	—	—
	会計年度任用職員		0.00人	—	—	—
	特別職非常勤		0.00人	—	—	—
	附属機関委員		0.00人	—	—	—

決算額	(千円)		R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)	
	歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	6,447	—	—	—	—	—
			会計年度任用職員	0	—	—	—	—	—
			特別職非常勤	0	—	—	—	—	—
			附属機関委員	0	—	—	—	—	—
	人件費計		6,447	—	—	—	—	—	
	物件費計		2,301	—	—	—	4,081	56.4%	
	歳出計		8,748	—	—	—	—	—	
	歳入	国庫支出金	0	—	—	—	0	(留意事項) ※正職員・再任用・任期付の 人件費は、人員配置をもとに 平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充 当されるもののみ記載されてい ます。	
		府支出金	0	—	—	—	0		
受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0			
市債		0	—	—	—	0			
その他		0	—	—	—	5			
歳入計(物件費に充当される特定財源)		0	—	—	—	5			
一般財源(物件費充当のみ)		2,301	—	—	—	4,076			

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
①			—	—	—

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)							直接アウトカム(結果による変化・便益)								
ロジックモデル	アウトプット①	説明						アウトカム①	指標	説明					
		目標	R6	R7	R8	R9	単位			目標	R6	R7	R8	R9	単位
		実績								実績					
		算出方法								算出方法					

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	課の運営が円滑に行えた。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	環境部における施設管理部門との統合を検討していく。	R7年度方向性	見直し
----------	---------------------------	---------	-----

参考	方向性の経過	R6年度の方向性 (R5実績測定)	R7年度の方向性 (R6実績測定)	R8年度の方向性 (R7実績測定)	R9年度の方向性 (R8実績測定)	R10年度の方向性 (R9実績測定)
		現状維持	見直し	—	—	—